



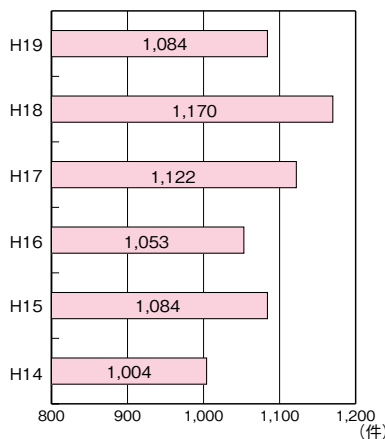
平成19年救急・火災報告

松前消防署での、平成19年中の管内における出動件数をまとめました。

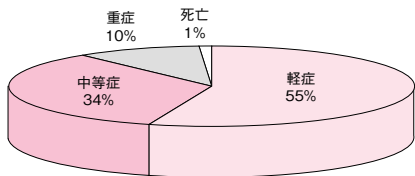
救急

平成19年中の松前消防署の救急出動件数は、1,084件です。(救急車出動中などにより他市町の消防署への応援出動要請は105件で、救急出動要請件数は1,189件です)

年別救急出動件数推移表



平成19年中の救急搬送者傷病程度内訳



軽症……入院加療を必要としないもの
 中等症……入院を必要とするもので重症に至らないもの
 重症……3週間以上の入院加療を必要とするもの
 死亡……初診時において、死亡が確認されたもの

次に救急出動の内訳を見ると、急病635件、交通事故156件、一般負傷144件、自損21件、労働災害12件、運動競技10件、加害2件、その他104件です。

傷病の程度では軽症55%、中等症34%、重症10%、死亡1%ですが、軽症の割合が全体の半数以上を占めており、依然として安易な救急車の利用が多数を占めている結果となっています。これは、1分1秒を争う生命の危険がある傷病者への対応に支障が出かねない状況です。事故や病気で救急車以外に搬送の手段がない時や、症状からみて緊急性があると思われる場合は、迷わずすぐに119番してください。そうでない場合は、119番する前に家用車やタクシーが利用できないか、今一度考えてみてください。

尊い命を救うために、住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

火災

平成19年中の火災件数は、10件で、内訳は、建物火災7件、車両火災1件、その他火災2件で、火災による負傷者は1名、死者は1名です。

また、その他の出動は148件で、そのうち救急隊支援出動は76件です。

● 女性消防団の「ちょっといい話」 ●

〈第19回〉

脳卒中にご注意を!!

A：今日も寒いねえ。
 B：夜中は特にね。トイレにおきるのがおっくうなんよ。
 A：特にお年寄りにはこたえるやろねえ。
 B：暖かい布団から急に寒いトイレに行くときは「脳卒中」に注意せないかんのやと。ねえ、救命士さん？
 救命士：そうですね、心臓疾患、高血圧、糖尿病などの持病をもたれている方は特に注意してほしいですね。冬場は実際患者さんが多くなりますし。急激な温度変化、過労やストレス、睡眠不足なども脳卒中の原因になるんですよ。
 B：三大成人病を予防することも大切なんやね。普段からバランスのとれた食生活を心がけないかんねえ。お酒の飲みすぎやタバコも控えないかんねえ。

A：適度な運動も大切よ。ストレスの解消にもなって、一石二鳥やね。
 救命士：脳卒中の前触れとして頭痛や吐き気、手足のしびれ、言語の異常など特徴的な兆候がありますので見逃さないようにすることが大切です。「あれ、おかしいな」と思ったら、注意深く観察をしてください。もし、倒れた場合は、安全な場所に静かに移動させ、意識、呼吸の有無を確認して必要であれば直ちに救急車を呼んでください。
 A：そして、もしものときは心肺蘇生法の登場やね。
 B：救急車のお世話にはなりたくないけど人ごとやと思たらいかんね。うちも早速トイレと更衣室の暖房を考えよ〜。